別紙様式１

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	平成２９年３月８日掲載

学校名　　岐阜県立大垣特別支援学校

校　長　中　村　政　年
所在地　大垣市西大外羽１丁目２２７番地１
電　話　０５８４－８９－４８１６

１　会議の名称
　岐阜県立大垣特別支援学校　学校評議員会（平成２８年度　第２回）

２　会議の構成
　学校評議員（敬称略）

坂　　忠　夫	大垣水都ライオンズクラブ会長
野　崎　重　光	日新地区センター館長
山　田　毅　彦	大垣市立柿の木荘所長
橋　本　聖　子	西濃圏域障がい者生活支援センター　相談支援専門員
堀　　保	大垣公共職業安定所統括職業指導官

　学校職員・保護者

中　村　政　年	校長
片　野　徹	事務部長
林　　正　治	教頭
新　川　教	教頭
水　谷　克	小学部主事
福　井　美　子	中学部主事
西　村　美　穂	高等部主事（普通コース）
和　田　喜　孝	高等部主事（職業コース）
樽　井　良　和	教務主任
水　崎　淳子	ＰＴＡ会長

３　会議の目的
　学校運営等について地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

４　会議の開催
　平成２９年２月２１日（火）１３時３０分 ～ １４時３０分　　会場：北校舎会議室

５　会議の概要
（１）学校長挨拶
・当校は、特別支援学校改変の過渡期にあり、平成２９年度より病弱・肢体不自由の併置化により、知的障がいがない児童生徒も入学できるようになった。高校・大学進学にも対応できるよう、地域の中学校や高校とも連携を取りながら、総合型の特別支援学校を目指していきたい。
・岐阜県の来年度予算で、平成３０年度開設予定の西濃高等特別支援学校（仮称）の整備に約２億円が予算化された。軽度知的障がいを対象として、一般就職を目指す高等特別支援学校化に向けた整備が、北校舎を対象として始まる。福祉・クリーニング・食品・工業の４コースを専門にした教育を展開するとともに、一般教科を強化した教育課程の編成を始めた。
・寄宿舎生は、特別支援学校の地域化により来年度は２名の見込み。

（２）自己紹介

（３）校内見学　　授業参観（高等部職業コース：教科学習）
※小中学部と高等部普通コースは、第１回学校評議員会にて参観済み。

（４）議案
・授業の感想
・新しい職業教育について
・高等部３年生進路内定状況
・平成２７年度の収支決算

意見１	○フロアメンテナンス班の生徒が校舎内をきれいに清掃してあり、仕事としての意識ができている。 ○美術のデッサンのうまさ、生徒が生き生きした音楽や体育の授業に感心した。 ○体育館は狭いが、生徒が互いに声をかけ合ったり職員が一人一人に適切な声かけをしたりして工夫し、活力ある授業だった。
意見２	○職業コースでは、どれくらいの時間が作業学習に割り振られているのか。 ○高等特別支援学校と現在の高等部とはどのように違うのか。 （回答） ・週の中で１４コマが作業学習、その他が１６コマである。 ・高等特別支援学校は、知的障がいがある生徒が対象で、定員は２４名の予定で選抜試験が行われる。 ・高等特別支援学校と高校や定時制との併願も可能である。 ・当校は交通の便がよいので、入学希望者が多くなることも予想され、今後の課題である。 ・現在の北校舎に高等特別支援学校の整備を想定しているが、独立した学校となるのか併設した分校となるのかは未定。 ・高等特別支援学校は、今までの当校の進路支援を押し出すのではなく、さらに上積みをしていく。
意見３	○７～８月に職業安定所との進路懇談を行ったが、先生方の努力に頭が下がる。 ○新しい生活介護の事業所が次々に立ち上げられている。 ○行動障がいの生徒の受け入れ先が難しく、卒業後在宅の場合ある。今までの積み上げが、元に戻ってしまわないようにしたい。 （回答） ・職業コース卒業生３２名中、２／３が就職、１／３が就労継続支援事業所や就労移行支援事業所である。 ・地元企業の理解と支援が得られ、実習や就職に結びついている。 ・新しい支援事業所について、保護者だけでなく職員も情報を収集していきたい。 ・進路はチームでやっていくことが必要。支援機関とも協力して、人生を左右することにはいろいろな意見を聞いて連携が必要。
意見４	○学校名の横断幕がなかったので発案し、消耗品費で２７年度に購入してもらった。部活動の対外試合などで活用し士気が上がった。 ・横断幕は、おおとばフェスタなどで活用している。 ・これからも、保護者から預かっているお金の有効利用を図っていく。

６　会議のまとめ

今回の学校評議員会では、はじめに校長から当校の学校改変について、来年度から知的障がいのない肢体不自由・病弱の生徒が入学する併置化実施や、平成３０年度からの西濃高等特別支援学校（仮称）の整備について説明した。その中で、理科や英語などの一般教科指導への対応や新たな職業教育への研究に取り組んでいることなどを説明した。また、それらに伴う作業学習室等の整備に向け、物品移動や大がかりな校舎改修が実施されることを紹介した。

次に、職業コースにおける普通教科の授業参観をしていただいた。各教室では、担当部主事が授業内容について説明を行い、次のようなご意見をいただいた。

・今回参観した理科などの授業は自分の頃とは大きく変わっており、ただただ感動した。
・席に座っていること自体難しかった生徒が、普通に落ち着いて授業に参加しており感心した。
・仕事をするにあたって、身につけなければならない挨拶や態度がきちんと指導されている。
・部屋が整然としており教育環境が整備され、授業そのものも一人一人に配慮がされていた。

高等部の進路状況説明では、一般就労に対する企業理解が進み全員進路決定ができたが、就労移行を支援する各種事業所が新設され、進路選択の多様化に対応して職員が情報収集に努めなければならいことが課題として上げられた。

平成２７年度の収支決算について報告し、了解を得ることができた。２８年度の会計報告は、次年度の第１回学校評議委員会で行いたい。

今回の学校評議員会では、当校の新たな取り組みを知っていただくとともに、その実現に向けて評議員として学校と地域との連携強化を一層図っていきたいというご意見をいただいた。

本日、学校評議員の方々からいただいた貴重なご意見・ご提言については、さらに一つ一つ精査して、今後の学校運営に生かせるよう進めていきたい。